



有年小だより

【校訓】ほがらか はつらつ すこやか

こまどり



赤穂市立有年小学校

〒678-1186

赤穂市西有年2853番地

TEL 0791-49-2081

発行者 江尻 裕亮

1. 17は忘れない 阪神淡路大震災から23年



4・5年生がお湯を沸かします



6年生のリードのもと協力して

地震



平成7年1月17日、6,434人の死者が出た阪神淡路大震災が起こりました。

あの日から23年目の1月17日（水）、兵庫県防災士会より金井貴子さんをお迎えして全校防災学習を行いました。多くの保護者の皆様や地域の方々にも参加していただき、ありがとうございました。

前半は講話・黙祷・ビデオ学習、後半は避難所体験のワークショップを行い、その様子が翌日の神戸新聞にも掲載されました。

ワークショップでは、物資が不足する避難所の状況を想定し、段ボールを使った簡易のいすやベッド作りと非常食の調理・試食を行いました。いすやベッドは6年生がリーダーとなりみんなで協力して作りました。非常食は4・5年生が用意したアルファ化米のご飯を広告紙を折った皿に盛り、ラップでおにぎりにしていただきました。

「僕がします。」「私にさせてください。」と進んで働く高学年や、協力しようとする低学年の輝く姿が随所に見られました。

避難所で子どもは「守られる存在」であるだけでなく、「役に立てる存在」でもあります。子ども達のもっている力のすばらしさを改めて感じた全校防災学習でした。



金井さんのお話を聞いています



段ボールベッド完成

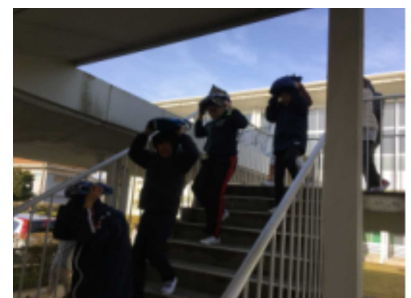


アルファ化米のご飯です



1月18日（木）には避難訓練を行いました。今回は、休み時間の地震発生を想定した訓練でした。みんなが好きなことをして過ごしている休み時間でも、緊急放送を聞き、自ら考え、声を掛け合いながらすばやく行動できたことがすばらしかったです。

南海トラフ地震は、30年後までに必ず起こると言われています。自分の命も人の命も守れるようにこれからも防災学習や訓練を継続して行っていきます。



整然とした避難訓練